

現状課題		論点	対策、方向性、参考事例など ※以下は事務局の意見メモであり部会としての意見ではない
(1) ニュースレター http://janpora.org/newsletter/	A.作成費用の削減について ・ニュースレターは学会事務局が原稿依頼・編集等の作業を行い、印刷を業者委託して発行している。 ・2018年度の印刷費は54万円（2号分発行） ・今年度以降、費用削減のため印刷版の発行は停止し、電子版（PDF）の発行のみを行っていく予定。ただし、印刷版の発行を止めても、デザインを業者に委託するとそれなりの費用がかかる。	・作製費用を抑制するためのアイデアや工夫はあるか？ ・費用抑制に関して、他の学会や企業等で参考になる事例はあるか？ ・費用が安い業者やサービスはあるか？	・デザイン性との兼ね合いになるが、1回の発行が10万円を切る業者もみられる。 https://www.insatsushop.jp/d_designform.php#p ・会員のなかでデザインを担当してくれるような人材を探す ・事務局で可能な範囲でデザインや編集を行う
	B.掲載内容について ・近年、学会会報として充実した内容になっていると思われる（主に石田祐前事務局長のスキルとネットワークによる貢献） ・一方で、事務局長の輪番制をとっていく中で、現状のような内容が維持できるか不安がある	・会報として十分な情報発信になっているか／他に掲載すべき内容はあるか？ ・会報に掲載しなくてもよさそうな内容や、別のツールで発信した方が効果的な内容はあるか？	・理事会、委員会報告等、連絡事項等をメインの内容とする ・学会誌以外に会員が論考を発表する機会を提供する意味で、企画ものを維持する ・ニュースレターの編集を行うポストを設ける
	C.発行頻度について ・年2回発行が慣例 ・タイムリーな情報発信という意味では、もう少し頻繁に発行した方がよいか？（もっとも、頻度を増やせば各号の内容は簡素になる可能性が高い）	・会報としてどの程度のボリューム、頻度で発行するのがベストか？	・年に2～3回発行が編集期間や情報の更新を踏まえると一般的か ・タイムリーな発信が必要な情報は別媒体も活用する ・今年度は、部会での検討を踏まえ、3月までに1回発行。
(2)ホームページ http://janpora.org/	A.管理・更新について ・WEBサイトの管理・更新は学会事務局の業務 ・さくらインターネットのレンタルサーバーを利用（年5466 円） ・更新作業は会員管理を委託している業者に委託（委託費年間30万円／月に5回程度までの更新（更新作業のみ）） ・更新作業を委託しているため更新までに時間がかかる。他方で、事務局等で自ら更新しようとすれば人材やスキルが不可欠。	・事務局でタイムリーに、かつ手軽に更新できるような方法やツールはないか？ ・管理や更新のあり方に関して、他の学会や企業等で参考になる事例はあるか？	・ホームページ内にブログや掲示板的な機能を組み込み事務局でも更新する ・タイムリーな発信が必要な情報は、TwitterやFacebookなどを使う ・頻繁に更新する機能があるホームページを持つ学会はあまりない
	B.掲載内容について ・学会の活動にかかわる内容は基本的にすべて掲載する方向 ・度重なる更新作業の影響により（？）、メニューの項目が増えたり、特定のページが深層に潜り込むなど、複雑になってしまっている。	・コンテンツは十分か／他に掲載すべき内容はないか？ ・情報をどのようにカテゴライズしたらよいか？	・更新ができていない箇所の把握、古い情報の整理 ・学会の紹介、入会、活動内容、出版物、お知らせ、といった大項目を立てて情報を整理する ・検索機能をつける
	C.デザインや仕様について ・現在のサイトは、2019年5月末まで更新業務を委託していたWEBデザイナーに作成をいただいたもの。 ・デザインの的に古くなってしまったか。 ・スマホでの閲覧には耐えうる仕様。 ・WEBデザインの変更やサーバー移行を検討か。	・WEBデザインのトレンドとしてどのような方向が望ましいか？ ・デザイン変更やサーバー移行についてよい業者・サービスはあるか？	・各種SNSとの連携強化 ・写真や動画などの組み込み ・サーバーの移行のみであれば比較的安価だが、現状のHPの情報量を踏まえると、デザインには数十万単位で料金がかかるようである。 ・大幅なデザイン変更、仕様変更等を行う場合は、更新作業委託先業者と調整しつつ、予算確保、人材確保等の計画を立てる必要がある。

(3)会員・非会員とのコミュニケーション	A.ソーシャルメディアの活用について ・現状、学会としてソーシャルメディアは利用していない。 ・会員あるいは非会員とのコミュニケーションを円滑にするため、活用する必要があるのではないか。Twitter、Facebookあたりが候補か？ ・当学会は伝統的にメーリングリストが活用されているため、どのようにすみ分けるか。情報発信ツールが増えればそれだけ管理・更新等が大変になる。 ・ソーシャルメディアは世代によって利用する種類や利用率が異なる。		 ・候補としてはtwitterとFacebookか。 ・更新を特定の人物でやるパターンと複数人でやるパターンがある。現時点では、学会事務局による運用が現実的。 ・自動投稿機能等をうまく設定できれば更新のためのコストは下がる。 ・運用規程をつくっている学会も多い（禁止行為や著作権に配慮）
	B.新規会員獲得について ・人口減少や高齢化による会員減少傾向。 ・積極的な広報活動を通じた会員獲得が、学会の生き残りに不可欠。 ・現状、新規会員獲得のための戦略的な広報と呼べる活動はない。	 ・新規会員獲得のためにどのような広報をすべきか？	
(4)その他			